

## 第5回 東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会

開催日時	平成 29 年 4 月 27 日（木） 10：00～12：10	場 所	東海村役場 議会棟 2 階 201・202 委員会室
出席者	委員／◎小原委員，○井坂副委員長，久賀委員，川亦委員，坪委員，安尾委員，川崎（敏）委員，宇野澤委員，藤田委員，川崎（道）委員，鈴木（さ）委員，鈴木（千）委員 事務局／村長公室 企画経営課 佐藤課長，高橋課長補佐，秋山係長，照沼主事，富永主事 建設農政部 都市整備課 庄司課長，橋本補佐，横山係長，浅野主任，大内技師 欠 席／荒木田委員，原委員 <div style="text-align: right;">（◎：委員長，○：副委員長）</div>		

### ○当日の活動・協議内容

#### 1 開会（企画経営課佐藤課長）

#### 2 小原委員長あいさつ

さくらまつりが終わり、休日が荒天だったにも関わらず、家族連れで賑わったと伺いました。次年度はぜひ、どのような方が訪れているか様子を見に行きたいと思えます。企画経営課長からも紹介がありましたが、新年度に伴い事務局の担当が新しくなりました。委員長は引き続き私が務めさせていただくので、よろしくお願い申し上げます。さて、今回から具体的な計画作りに入っていきます。これまでも、段階を踏みながら進めてきたつもりです。新しい取組みには様々な入口があると思えますが、コンセプトを大きなベースにさせていただき、ハード面について、まずは、短期的観点から足を運んでみたいといった入口になるような計画を立てられればと思えます。東海村にはボランティアが多いといいますが、限られた人的資源なので、うまく活用させていただくということを含めて、再度、計画を練っていただきたいと思えます。これからまた1年間、修正しながら進めていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

#### 3 議事（進行：小原委員長）

##### 議題（1）村松周辺エリアにおける短期的取組みについて

===資料1，2及び参考1～3について説明（企画経営課 照沼主事）===

<質疑>（■…質疑 ⇒…回答）

■短期的・中長期的取組みとあったが、これまで、このような分け方をしてこなかった印象がある。今回、このような分け方をした趣旨を教えてください。また、「中長期的取組み」に関する提案はどのように扱われるかを知りたい。（藤田委員）

⇒この委員会は国道245号拡幅が一つの出発点だった。ただ、その工事が終了する目途は立っていない。かといって、時間的な制限なく会議を続け、取組みに着手できないのものがかと考え、第1回の会議において国体を一つの目安とすることを提示した。ハード整備が必要な場合、時間もお金もかかる。そういったところについては、中長期的取組みとして扱う。（高橋補佐）

■国道245号や公園周辺駐車場の整備のイメージが不明な中で話を進めるのか。役場とし

いつまでにどう工事を進めていくか思惑があるのではないか。(川崎敏委員)

⇒第4回委員会で公園及び駐車場整備イメージについては示させていただいた。それが今のところ最新の情報だ。国道245号拡幅について、現時点でいつまでにどこまでできるかは決まっていない。(高橋補佐)

■平成29年3月に、(公園周辺駐車場候補地の)地権者等の関係者を対象とした説明会で、駐車場整備は国体後になると聞いた。社会人大会や国体を行うために、現状の駐車場のみで足りると考えているのか。(久賀委員)

⇒社会人大会と国体時の駐車場については、別の場でも検討されており、国体開催時は、会場周辺に駐車場を整備するのではなく、バスで選手や観客を輸送する計画だ。公園全体の整備(計画)があり、その途中で国体が開催されると考えている。ただ、現時点でも、駐車場候補地がある上、イベント開催時等は駐車場が不足している。短期的な取組みとして、駐車場を整備する必要があるとまとめれば、例えば、幼保跡地エリア等の駐車場整備について検討をすることとなる。現時点では、第4回委員会で示したイメージ図のとおり進めているので、これを参考にしていきたい。(庄司課長)

■国体時は駐車場シャトルバスで(人を)運ぶ考えか。(川崎道委員)

⇒そうだ。生涯学習課で国体競技推進の分野で検討されている。そちらと連携し、本委員会で情報提供できるようにしたい。(庄司課長)

■前回委員会の説明の中では、阿漕ヶ浦公園周辺での駐車場確保を検討されているようだったが、(駐車場ではなく、)他の用途で使った方がいいと感じるところもあった。どこまで検討しているのか分からない。結局、「短期的取組み」と言いながらも、「長期的取組み」も見据えて意見を出すべきなのだろうか。(坏委員)

⇒そういうこととなる。(庄司課長)

■中長期的な取組みは予算や時間がかかる。短期的だと、おそらく、それほど大きな予算を伴わないソフト面が主になるのではないかと。計画対象エリアに大きな駐車場を確保し、道の駅を設置してはどうかという意見もある。それは大きな比重を占める。確保したいものが前提にあって、そこから周辺の取組みも派生するのではないかと。原子力機構の所有地(の活用)が2箇所挙げたが、脈はあるのか。その場所を取得する可能性はあるのか。決定でなくとも、土地の交渉については着手してもいいのではないかと。(久賀委員)

⇒不透明なところがあるので、検討にはご苦勞をかけるかもしれない。全ての提案が通るかは分からないが、できる限りいただいた意見について反映できるように、ハード面ソフト面についてご検討いただきたい。(小原委員長)

※以降、A・Bグループに分かれ、グループワークを開始

(議論テーマ)

村松周辺エリアにおける短期的取組みについて

Aグループ

(進行：橋本補佐)

はじめに各委員から「現状・課題」、「意見・提案」を付箋に書き出してもらい、それを基に意見交換を行った。

《現状・課題》

- ・ 駐車場やトイレの数が少ないため、イベントが開催される度に不足する。
- ・ そもそも「村松周辺エリアがどこか」という部分で、場所が分からない。
- ・ 村松周辺エリアの認知度が不足している。
- ・ 雑草が生い茂っていて通れない道路があったり、周辺にごみが散乱している場所があったりと、生活環境面で問題がある
- ・ 松が松くい虫の被害により枯れている。特に人間道路から海岸方面を望むと、JAEAの敷地も含め広範囲で松枯れしている。
- ・ 飲食ができる場所が少ない。
- ・ 村の花であるスカシユリが保全されていない。
- ・ 国道 245 号の拡幅工事が進んでいるが、4車線化によって地区が分断されないか懸念される。
- ・ エリア内の旅館が、大学生や高校生のスポーツ合宿に利用されている。

《意見・提案》

- ・ 駐車場不足解消のため、駐車場を整備する。
- ・ トイレ不足解消のため、トイレを整備する。
- ・ エリアの認知度アップのために、案内板やパンフレットを作成する（例えば初詣や国体、国体のプレ大会である社会人ホッケー大会、エリア内の歴史についてなど）。
- ・ スカシユリや生活環境の保全のため、エリア内のクリーン作戦や花いっぱい運動を企画し実施する。
- ・ 景観保持のため、松くい虫対策を検討する。
- ・ 飲食する場所を提供するため、イベント時に仮設店舗（常設でとなるとハードルが高いため）を出店する。
- ・ トライアスロン大会など、スポーツの場として活用できるかを検討する。
- ・ 情報発信のため、タブレットやスマートフォン、iPhoneを活用した発信方法を検討する。

主なやり取りは以下のとおり（■…意見 ⇒…意見に対する質問や回答）

《駐車場について》

■花火大会などのイベントの度に駐車場が不足している。

⇒駐車場がなければイベントには寄らず素通りしてしまつて観光客は寄らない。そしてそもそもイベントには来ない。

⇒となれば、短期的な取り組みとしては、イベントの際に車が停められるスペースが仮設でもよいから必要、ということになるだろうか。

⇒イベントが開催されない通常期でも、駐車場の位置が分からなければ立ち寄らない。

⇒駐車場だけでなく、トイレの数も足りない。

⇒となれば課題としては、駐車場と共通の課題ということでしょうか。

- ⇒トイレについても、仮設でもよいから必要である。
- ⇒村松山にはトイレがあるが、大神宮のほうにはトイレはない。
- ⇒正月の初詣期などにはトイレが足りなくなるため、トイレの整備が必要ということではないか。
- ⇒村松山虚空蔵堂が東海村にあることは知っているが、では現在地から何 km 離れていて何分で着くか分からないことが多い。
- ⇒この村松周辺エリア自体が認知されていない、という課題がある。
- ⇒外から来た人が、この村松周辺エリアにはどういった観光スポットがあるのかが分からないことが多いのではないか。
- ⇒となれば、このエリアのことを知ってもらい、数多くの人に来てもらうために案内板が必要、ということになるだろう。

#### 《観光面について》

- 東海村名物の土産品の開発をしてもよいのではないか。
- ⇒村全体としては「東海村おすすめセレクション」を作ってPRしているが、村松周辺エリアについては開発をしておらず、これから検討をしていくところである。
- 水戸を中心としたこの近辺には「水戸八景」というものがある（東海村は村松晴嵐）。水戸八景をめぐるツアーを企画するなど、もっと水戸八景を宣伝してもよいのでは。
- 来た人に「綺麗だな」と思ってもらえる場所があることが重要である。海が見えればそう思ってもらえるかもしれないが、現状では人が集まっても海まで行かない（八間道路から海岸までの距離があるため？）。
- 飲食系のターゲットとして想定している客層は。
- ⇒外から来る人も重要だと思うが、今この周辺に住んでいる人にも来てもらいたい。
- そういった中で、短期でできる取り組みは何か。
- ⇒短期となれば仮設店舗でもかまわないと思う。仮設店舗の設置が難しいなど、場合によっては空き家（空き店舗）を活用してもよいのではないか。
- 国道 245 号拡幅に関連することだが、阿漕ヶ浦運動公園と村松山のアクセスについて提案すべきではないか（直接行き来できるようにする、など）。
- ⇒拡幅が完了してからではなく、完了する前の現在から提案し、アクセスについて検討してもらうことも重要である。
- 来年、国体のプレイベントとして社会人のホッケー大会が開催されるので、そこに合わせてスポーツイベントを開いて、このエリアの周知ができないか。
- ⇒八間道路をコースとしたリレーマラソン開催の構想はあるが、マラソンの専門家を配置しないと開催できないため、実現はしていない。
- 245 号拡幅に伴って、エリア内の地域が分断されないようにすることも考えなければならない。
- 「このエリアにお客さんが 1 万人来たら」と「このエリアにお客さんを 1 万人呼ぶには」の 2 つの考え方が必要ではないか。
- 一度来てもらって景色を見てもらい「綺麗だな」と思えばまた来たくなると思う。
- 外から人を呼ぶことも重要だが、この地域の子供（こども園の園児など）がこのエリアの

散歩をすれば思い出となり、将来もずっと住み続けてくれるかもしれない。

- 今は景色の写真を撮影してSNS（Instagramなど）にアップするのが流行っている。そういった流行に乗ることも重要である。

## Bグループ

(進行：高橋課長補佐)

(■…意見 ⇒…意見に対する質問や回答)

《駐車場について》

- 絶対的に駐車場が不足している。駐車場の確保のために（早い段階で）動いていかないといけないのではないか。「駐車場の確保」と「物産展やトイレの設置」をメインに据えて、その見込みについて、構想段階で持っていないといけない。

⇒今回、議論していただく「短期的取組み」には、“緊急性が高いもの”や“時間がかかるため、なるべく早期に取り組まなければいけないもの”等がある。「駐車場の確保」で言えば、場所の選定や地権者との交渉があり、早期に検討を進める必要があるだろう。そういった意味では、短期的計画に「駐車場確保の検討」は謳う必要がある。

- 計画の中では国道245号の拡幅は阿漕ヶ浦公園入口までしか工事されないという話だが、駅からシャトルバスを出すようになるのか。

⇒以前に、東海高校でホッケーの大会があった際も、絆等から搬送していた。選手を会場に降ろし、大会が終わったら連絡をとって迎えに行っていた。国体の関係者はそういった形で送迎できるのではないだろうか。

⇒会場に来て、どこにも寄らずに帰ってしまったのだろうか。

⇒2年程前の関東大会では風評被害があったそうだ。

⇒一時的に人が来るが、競技が終わってすぐ帰ってしまうのはもったいない。この機会を活用して何かできないだろうか。

《短期的取組みに対する意見・確認》

- （短期的取組みの）緊急性があるというのは、どういったことか。

⇒これまでの委員会が出た意見で言えば、例えば、松枯れの問題等は相手方もあることなので（取り組むとしたら）早期に取り組む必要があるだろう。

⇒これまで出た意見の中で、緊急性が高いものについては早期に取り組まなければいけない。すぐ取り組むべきものや、できることからやっつけていこうということだ。国体はあくまで目安だ。

- 幼保跡地エリアは用地買収が不要で、取り組もうと思えば、（早期に）活用できるが、（村のイメージ図案とは異なり）幼稚園跡地を駐車場とし、保育所跡地を広場としてもいいと思う。

■全体の夢を語るなら、ある程度形にしなければいけないのも分かるが、いきなり国体や短期的・中長期的取組みという言葉が出てくると、我々は国体のために集まったのかと考えてしまう。

⇒国体はあくまで一つのイベントと考えていただきたい。例えばだが、「国体で来る人を対象

- に、必勝祈願の道をつくる」等のアイデアをいただきたくて、国体というイベントを提示させていただいた。(本委員会は)国体のために何かを考えるということではない。
- ⇒最初は、国体が頭になかったので、国体に縛られているような印象を受ける。阿漕ヶ浦公園がどう変わるか、それをどう(取組みに)反映するかと捉えていた。国体にターゲットを絞ったように感じ混乱している。
- ⇒第1回の委員会でもご説明したが、ある程度のゴールを設定しておかないといけない。
- ⇒(計画の)中身が短期的なものになるという話なのか。平成30年の4月に計画を立て、平成31年には実行しているという話だったのか。唐突感がある。
- ⇒国体について意見がなかった場合、それはそれで問題ない。国体はイベントとしての例示であり、それを目的とするわけではない。
- 阿漕ヶ浦公園から国道245号にトンネルを通して、裏から大神宮や虚空蔵堂へ来やすいようにしたい。村外の人が国体を目的に来たが、少し足を延ばしたら、大神宮のような歴史的な建造物があった。そういう風に(国体と村松地区の活性化を)くっつけていいのか。
- ⇒短期的イメージは、例えば、平成31年や35年までとし、それ以降は中長期とする。そういうターゲットがあって、この活動は国体に繋げる、これは関係ないから別の整理とする等、といったことをまとめるということだろう。
- ⇒イメージは、常磐神社と千波湖だ。そういったものを造らない限り私達の目標は…(達成が難しいのではないか)。
- ⇒国体に絡むか絡まないかは別にして、それはそれで提案していいのでは。駐車場も本当は今ほしいが、すぐにはできないので、(完成までの)ステップを洗い出しておくことだろう。どこに駐車場を造れば、こんなことができるといった提案も可能だろう。
- ⇒例えば、50台駐車できる駐車場用地を確保して、そこに降りた人がずい道を通って、(大神宮・虚空蔵堂へ行けるような)案内ができればベストだろう。
- ⇒その先の話だが、整備主体や運営主体まで本委員会で話し合い、できるかできないかの判断は村がする。例えば、地元の住民の方が取り組むという意見が出れば、地元で意見を落とし、できるできないの判断になる。ここでいただいた意見が必ずしも実現できるとは言えないが、委員会としての提言はいただきたい。

#### 《阿漕ヶ浦公園から大神宮・虚空蔵堂のアクセスについて》

- ずい道と裏門を造るというイメージが強い。三重の塔や村松晴嵐周辺をJAEAに整備してもらいたい。
- ⇒(国体に)間に合うかは別にして、実現不可能なことではないのでは。
- ⇒J-PARCのアクセス道路について、晴嵐の碑に繋がるような道の整備については、中長期的取組みになるのか。
- ⇒短期的取組みから中長期的取組みへ繋がるものもある。駐車場もそうだが、検討等は早めに着手が必要だ。整理的には、中長期になるかもしれないが、継続するものもあるので、まず、取り組まなければいけないもの等、短期的な時間軸でご意見をいただきたい。
- 国体と合わせるなら、大神宮・虚空蔵堂の参拝客を増やすことだ。(阿漕ヶ浦公園に)観光バスで到着しても、アクセスが悪いので、参道まで歩く人はいないだろう。
- ⇒国体に来た人には(大神宮や虚空蔵堂まで足を延ばしてもらおうということ)あまり期待

できないのでは。みんな予定があるだろう。

⇒やはり参道整備が必要だ。今の村道に裏門を造っても人は入りづらい。

#### 《細浦青畝について》

■細浦青畝や真崎古墳群等あるが、(活性化の)メインにはならない。

■真崎古墳群や天神山の放射線量はどうなっているのか。地域で天神山等の整備を行う際、線量の関係で後回しとすることがあった。たとえば、たけのこ堀りのイベントをやっても線量の関係で食べられるかの問題がある。(久賀委員)

⇒ご意見をいただいて、そういった線量を調べて、(安全性が確認できれば)実行に移すといった段階があるかと思う。この委員会は、ご意見をいただく段階と捉えていただきたい。

■細浦にはホテルがいる。ホテルの里としてもいいのでは。

#### 《国体開催と合わせた取組みについて》

■ランニングコースの案内なら簡単にできるのでは。

⇒阿漕ヶ浦公園の駐車場を基点とし、真崎古墳群まで0.5km等示してはどうか。また、村の文化財であり知られていないが、曲がり杉がある。そういった文化財までの道を整備してもいいのでは。ヘルスロードを新たに設けてもいい。

⇒ランニングコースには舗装してラインをつける必要があるだろう。

■大空マルシェを国体の時期にぶつけてもいいだろう。(これまでは1日間の開催だったが)国体の期間開催してもいいかもしれない。

⇒(大空マルシェの開催場所として)原研グラウンドを開放してもいいのでは。もしくは、野球グラウンドを使ってはどうか。その方が選手も来やすいだろう。

⇒国道245号は大渋滞だ。さらにイベントを重ねてもいいのか懸念はある。

⇒その時期だけ駐車場を借用してもいいのではないか。

■桜まつりでスタンプラリーをやったら好評だった。大神宮虚空蔵堂に3箇所程度(ポイントを)造れば、親子で参加できる。大神宮や虚空蔵堂のPRになるだろう。

#### 《国体開催時の飲食(ケータリングカー)について》

■ケータリングについて、村商工業者をお願いするなら、キッチン付きのプレハブを役場で造り、出店料を徴収してはどうか。県内全てで国体が開催されるので、ケータリングカーを確保するのは難しいだろう。

⇒例えば、フードフェスティバルを実施するような例はないのか。

⇒地元の食材を提供するところはあったが、イベントはおそらくやっていないのでは。役所は国体の運営でイベントを実施する余裕はないのだろう。マンパワー的に難しい。

⇒食イベントでは村内業者が優先だろうが、ネストビール等県内で有名な店に出店してもらうことは可能だろうか。ネモフィラの時期の海浜公園のように、常陸牛やローズポークが食べられるといい。

⇒他県のケータリングカーなら余裕があるだろう。44市町村で競技を実施しているので、県内だけでは無理だ。全国から募集した方がいい。大空マルシェも千葉県や埼玉県から来る。

⇒地元の飲食店や宿泊業は地元内で手一杯だろう。選手と関係者分は間に合うかもしれないが、応援の人たちの分までは難しいかもしれない。

⇒国体をきっかけに村松地区から何を提供できるか考えてもいいのかもしれない。

#### 《現状・課題について》

■空き店舗や空家は村松周辺にあるのか。

⇒参道の辺りにある。ただ、空家があっても駅から離れているので売れない。昔は賑わいがあったが、現状は購入する人がいない。

⇒空家を借りることはできないのか。

⇒マッチングがうまくいけばあり得るのでは。

⇒活性化の意味では外から人が来て（空き家を活用して）もいいのでは。

⇒場所がイマイチだ。ひたちなか市では空き店舗等に居酒屋が入った例があるが、村松地区は（駅から）離れすぎている。

■昼食をとろうにも、近場に食べる場所がない。ケータリング専用駐車場はどうか。普段は普通の駐車場として利用でき、国体開催時はケータリング専用とする。

■（国体時、）飲食ブースは役場で取り組まないだろう。ただ、飲食組合も自分の店が忙しいので、なかなか出店できない。ケータリングカーの組合もあるだろうから、そちらへ相談してはいかがか。ただ、笠松運動公園も会場となっている。

⇒県内全域で国体が行われるため、（飲食業者に）早めに声をかける必要がある。

⇒（村松地区には）飲食店・土産屋が少ない。ただ競技して帰るのではもったいない。

⇒飲食店の展開については役場では煮詰めてないのか。

⇒具体的な動きはこれからと聞いている。

■湖があっても、草で水辺に近づけない。今の課題はそれだ。子どもも（水辺に）近づくことができるような整備が必要だ。阿漕ヶ浦周辺の雑草の整備は国体に向けて行った方がいい。

■ご意見をまとめると、課題としては、外から人を呼び寄せるという視点から、駐車場や滞留する場所・飲食店・土産屋がないということや距離的なところが挙げられた。次回以降、意見を整理し、担い手等についても議論したい。

## グループワークのまとめ（委員長への報告）

### ＜Aグループ／報告者：橋本課長補佐＞

駐車場が不足している、当該エリアの認知度が不足している、という、ハード面とソフト面からの課題が出た。特にソフト面については、インターネット（タブレットやスマートフォンなどの機器も含め）を使った宣伝とエリアの周知が必要ではないか、という意見が出た。生活面については、人を呼び込むことは問題ないが、その後ゴミが散らかることが考えられる。そのため、クリーン作戦を実施するなど、皆さんが安心して来てくれるような取り組みが必要では、という意見が出た。エリア内の松についてだが、松くい虫の被害により大量に枯れているため、そちらについても早急な対応を講ずる必要がある、という意見が出た。

#### <Bグループ／報告者：高橋課長補佐>

村松周辺エリアの現状・課題について、「駐車場不足」「食事する場所がない」「駅から遠い」といった観光的な視点からの意見が多かった。また、国体関連についての意見について、「ランニングロードの整備」「国体と大空マルシェの同時開催」「飲食店が少ないので、県外からケータリングサービスを呼んだらどうか」といったご意見をいただいた。国体についての意見は議論する組織が別にあるので、そちらにも繋げていきたい。また、観光・景観については「大神宮を巡るコース」や駅からのアクセスについて、「自転車の活用」「道沿いの植栽」「阿漕ヶ浦の草刈が必要」等の意見が挙げられた。次回は、いただいた意見を事務局で整理し、提示したい。

#### <委員長コメント／小原委員長>

これまで中長期で考えてきたものをいきなり短期としたため、みなさまにはご苦勞をおかけしたところがあるかと思う。「客が1万人来たら」という発想と「客を1万人呼ぶには」という発想がある。やはり、基本となるのは観光客かと思うが、その場所が綺麗だと感じると「また来たい」と思うので、景観整備は大切だ。また、散歩コースとあったが、例えば、地元の幼稚園生がよく散歩し、村松の魅力を感じることができれば、その内の何人かは村松に住みたいと思うかもしれない。そういった点でも景観整備は重要だ。今、景色を写真に撮り、SNSで流すことがブームになっているが、この流れはまだまだ加速しそうだ。食イベントについてのご意見も出たが、まちづくりでお金を生み出すのは難しい。

(観光ゼミの)学生も1円単位でお金を生み出そうと努力している。例えば、国体の際に、大々的に村松で食イベントを行うという意見も出た。それに合わせて、村松地区から商品を出し、それが村全体の名物になる可能性があるだろう。歴史・科学については、やはり原発のイメージが強いが、外から来た人に、大神宮や虚空蔵堂にどれ程の歴史があるか情報発信できるようにする等、様々な可能性がある。

もう少し意見を集約しながら徐々に形にしていきたい。私も村外の人間として、こういうものがあればいいというという視点からご意見していきたい。次回以降、コンセプトにも繋げつつ、事務局と意見の整理をしていきたいと考えているので、引き続きよろしく願いする。

⇒景観の話が出たが、景観で大事なものは水だ。現在、村の阿漕ヶ浦は活用できていない。

桜が見えるところからは全然水が見えない。水辺の草刈をするだけでも違うだろう。水辺の景観を重視してほしい。(川崎道委員)

#### 議題(2) その他(事務局より)

- ・次回委員会：6月中旬～下旬 予定
- ・日程調整表を5月下旬頃送付する。

#### 4 閉会(佐藤企画経営課長)

(以上)